

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	表現とこどもの運動	
科目基礎情報					
開設学科	こども学科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	15時間
単位数	1単位	授業形態	演習		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	前嵩西珠世		実務経験の有無・職種	有・スポーツクラブこどもスクールインストラクター	
学習目的					
子ども達が自分の思いや考えを他者に伝えられるようになるため、保育者は様々な方法で表現ができる環境設定をしなければならない。年齢や環境に応じた動きや運動遊びを習得するとともに、子ども同士がどう工夫し、表現し、仲間とよりよくかかわっていくことができるのかを、発達段階に沿って展開させることを学ぶ。また、子ども達が楽しく表現運動することができる安全性についての理解を深めることも目的となる。					
到達目標					
表現運動における援助者の役割、身体表現活動の留意点について理解し、相手に伝えることができるようになること。また、生活環境によって豊かな感性が育まれるかどうかは変わってくることを理解し、表現活動に適した環境設定を提案できるようになることを目標とする。表現遊びや表現運動が5つの領域に相互に関わり成り立っていることを理解し、子ども同士での運動遊びにおける表現や心身の健康など、援助者として発達状況に応じた援助法を習得していく。					
教育方法等					
授業概要	子どもの表現遊びや運動が年齢に応じて展開されていくことを理解し、表現遊び運動の実践例かイメージを膨らませ、安全に楽しく表現遊びが展開できる知識及び実践力を理論的に深める。				
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。講義開始時間は厳守。開始後10分までは遅刻、それ以上の遅刻は欠席とみなす。ただし、受講は可能。保育者として運動するにふさわしい服装にて参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	平常点	40%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
	試験・課題	60%	試験と課題を総合的に評価する		
授業計画（1回～8回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	社会的背景の理解		①運動遊びのねらい ②運動遊びの援助について		
2回	子どもの発達と運動について		①身体・形態・機能・こころの発育発達 ②こどもと運動		
3回	運動遊びの基本的な動き		①基本運動（歩・走・跳・投・押・引・転・登） ②運動表現の要素（調整力：身体認知・空間認識）		
4回	身体コントロール能力の向上		①調整力中心の体づくり運動 ②音・色などの刺激に対応する運動		
5回	こどもの表現運動Ⅰ		①表現運動実施の教育的意義 ②身体表現運動とは		
6回	こどもの表現運動Ⅱ		①身体表現運動のねらい ②実施上の留意点		
7回	発達段階と表現運動の実践（表現運動遊びの実践）		①年齢別発達における表現あそび（表現リズム運動、ごっこ遊び、おはじき等） ②手遊びとリズム表現（糸まき、アルプス一万尺、げんこつ山のたぬきさん、むすんでひらいて、アイアイ・・・等）		
8回	表現運動（運動遊び）における安全指導		安全管理について（安全の考え方、物的管理、人的管理、用具管理等）		
9回					
10回					
11回					
12回					
13回					
14回					
15回					